

# シーンⅢ－10 自然の家 人と自然の交流事業

## 事業目的

県立3自然の家が実施する自然体験プログラムによる学習体験を通じ、日常生活や家庭における生活習慣等を改善する「具体的な行動」につなげるとともに、自らの意識を改革し、人間が環境と調和して生きていくことの大切さを実感できる人材育成を図ります。

## 事業効果

二酸化炭素の削減効果	－ t-co2
その他(H27参加者数見込)	延べ750人

## 事業内容

【平成27年度事業費】 2,549千円

【事業量】 自然の家人材養成回数 計13回 参加者数 延べ750人

【実施主体】 宮城県(蔵王, 松島, 志津川自然の家)

◇蔵王自然の家: 登山教室(初心者のための登山・山ガール教室), 蔵王四季の登山

◇松島自然の家: バードウォッチング入門

◇志津川自然の家: 野鳥観察, 海に親しむ会

※参加者の募集は、随時、各プログラムごと各自然の家で公募する予定



蔵王四季の登山

## 現状

### 社会情勢

◇学校における環境学習は教科として位置づけがされていないため、教科書もなく、実践は教師と児童・生徒の独自性に任されているため、普及が進みづらい。

### 自然環境

◇登山者の集中, 踏み荒らしによる植生の悪化など  
◇ブラックバスなど, 特定外来生物による生態系の攪乱  
◇人間による過剰な負荷で自然環境は劣化...

## 税導入後のイメージ

◇社会教育施設による自然体験プログラムの学習体験が家庭の生活習慣や生活様式改善への行動につながり、多様化する環境問題に対する理解や意識の向上に寄与する。

また、観察・実験や調査等の実践をとおして、身近な自然や生活環境を大切にしていこうとする意識と態度が培われるとともに、人と環境のについて、高い関心を持った環境と調和できる人材の育成が図られる。